

1. 研究課題名

肺腫瘍に対する定位放射線治療において間質性肺疾患の有無が放射線肺臓炎に与える影響に関する検討

2. 試料・情報

(1) 利用目的

本研究は肺腫瘍（原発性および転移性）の患者さんにおいて、体幹部定位放射線治療（SBRT と略します）の有効性と安全性について、これまでの治療内容を振り返って検討することを目的としています。もともとの肺に間質性肺疾患（ILD と略します）がある患者さんでは、肺に対する SBRT によって重篤な肺炎となるリスクが高いとされていますが、実際の発生頻度や肺炎の重症度などについては不明な点が多いのが現状です。本研究の成果によって、安全に SBRT が施行されることにつながると考えています。研究期間は院内で承認されてから 2027 年 3 月 31 日までの予定で、研究の結果は 2025 年 11 月に開催される日本肺癌学会や日本放射線腫瘍学会などで発表する予定です。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は 2020 年 4 月から 2025 年 3 月の間に、肺腫瘍の方に対して施行された SBRT の内容とその効果、および副作用について、診療記録を利用して解析を行います。利用する情報は患者さんの年齢、性別、原疾患、ILD の有無、照射線量、照射前後の画像評価などで、利用を開始するのは本研究が承認された日以降です。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター

放射線腫瘍科部長

同医師

呼吸器内科部長

同医師/内視鏡診断治療科副部長

野中哲生（研究責任者）

新田葉月（共同研究者）

出雲雄大（共同研究者）

栗野暢康（共同研究者）

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以

下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604

担当：放射線腫瘍科 野中哲生